

第 1 回 館山市議会定例会会議録
(第 5 号)

1 昭和61年3月11日(火曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

1 番 神田 守隆
3 番 山中金治郎
5 番 横溝 功
7 番 榎本 春光
9 番 福原 勤
11 番 飯田 義男
13 番 石井 昌治
15 番 渡辺 昭夫
17 番 近藤 好雄
20 番 石井 武敏
22 番 林 豊
24 番 流山源次郎
27 番 安西 益男

2 番 田沢 勝信
4 番 小宮 利夫
6 番 生稻 陸
8 番 日下 君敏
10 番 川名 正二
12 番 石井 謀
14 番 伊藤幸太郎
16 番 松下 正己
19 番 黒川 平治
21 番 吉田勇治郎
23 番 伊賀 多朗
25 番 五十嵐 昇
28 番 安澤 徳順

1 欠席議員 1名

26 番 石井 正

1 出席説明員

市長 半澤 良一
収入役 山田 俊康
総務部長 川畑喜代志
経済部長 吉岡 政雄
教育委員会
委員長 高橋 弘之

助 役 小倉 澄男
市長公室長 斉藤 武男
民生部長 鈴木 力
水道課長 石井 敏夫
教育委員会
教 育 委員 会 長 福原 修

1 出席事務局職員

第1号に同じ

1 議事日程(第5号)

昭和61年3月11日午前10時開議

議案第 1号 昭和61年度館山市一般会計予算

議案第 2号 昭和61年度館山市国民健康保険特別会計
予算

日程第 1	議案第 3 号	昭和 6 1 年度館山市老人保健特別会計予算
	議案第 4 号	昭和 6 1 年度館山市ユースホステル特別会計予算
	議案第 5 号	昭和 6 1 年度館山市学童災害共済事業特別会計予算
	議案第 6 号	昭和 6 1 年度館山市水道事業特別会計予算
	議案第 7 号	昭和 6 1 年度館山市国民宿舎事業特別会計予算

開 議 午前 10 時 04 分

○議長（流山源次郎君） 本日の出席議員数 25 名、これより第 1 回市議会定例会第 5 日目の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第 1、議案第 1 号乃至議案第 7 号昭和 61 年度一般会計及び各特別会計予算を一括して議題といたします。

質 疑 応 答

○議長（流山源次郎君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

20 番議員石井武敏君。御登壇願います。

（20 番議員石井武敏君登壇）

○20 番（石井武敏君） 私は、昭和 61 年度予算説明資料によりまして御質問を申し上げたいと思います。

まず、10 条の 4 款衛生費についてであります。ここには都市排水路浄化施設設置事業が載っております。また、その下欄には家庭雑排水処理対策等事業というように事業が載っております。都市排水路浄化施設設置の事業は「排水路に直接浄化施設を設置し、河川に流入する汚濁物質の減量化を図る」というように説明されております。また、家庭用の雑排水の処理に対しては「家庭でできる浄化対策として、汐入川流域に

居住する約500世帯に三角コーナーとろ紙袋を提供し、その効果を測定するとともに浄化に対する認識と使用の定着化を推進する。また啓発用チラシを作製、市民の理解と協力を求める」というように事業の説明がうたっておりあります。

これらの施策につきましては、私は大変重要な施策であるというように受けとめております。今まで館山湾が非常に汚染されているという問題で種々市議会におきましては論議が交わされました。確かに館山湾の海水の浄化に関しましてこれが原因になります河川の汚濁があり、いわゆる下水道の設置というような抜本的な施策が必要であります、それとともに今回予算に計上されましたように民官一体となって浄化を行っていくという施策、これまた私は大変重要だろうというように考えます。その重要性を考えまして今回質問として取り上げました。

特に、河川の汚濁、汚染の状況を見ますと、その汚染の原因となるものはいろいろありますが、その原因の中で特に家庭用の雑排水というものは非常に汚濁源として著しいものがあるというように私は考えております。ちなみに、私の調査をしましたところによりますと——家庭用雑排水がどのくらいの汚濁物質を含んでいるか、汚濁度があるかということに関しましてちょっと資料の方を引用したいと思いますが、例えば家庭用の雑排水——米のとぎ汁に関しましては3200PPMの汚濁度であります。また、みそ汁は2万6000PPM、おでんの汁は7万4000PPM、ラーメンの汁は2万PPM、それから日本酒は15万PPMから20万PPM、牛乳が1万PPMであります。これらはし尿の汚濁率に比べますと大変多いわけでございます。ちなみにし尿の汚濁率は1万3500PPMです。ですから、し尿によって汚濁されているというよりもこうした家庭用の雑排水に汚濁されているということは大変著しいものがあるということが計数的に見てもわかるわけであります。この資料は県の水質保全資料によるものでございます。

さて、そこでそうした重要性をかんがみて御質問するわけでございますが、ぜひともこうした施策を推進して成功させていただきたいという点から御質問申し上げます。

まず、質問でございますが、ここにあります都市排水路の浄化施設設

置につきましては、ここには「接触ろ材として人工芝を水路底に敷設する」というようになっております。いわゆる接触ろ材の人工芝を排水路に設定してそして汚濁物質を取り除こうという施策であると思いますが、これはどこの排水路にどれだけの距離のものを設定なさるのかお尋ねをしたいと思います。

それから、家庭用の雑排水の対策でございますが、説明資料によりますと、三角コーナーとろ紙袋を提供していこうということですが、この三角コーナーとろ紙はスーパーで一般に市販されているものと同じものであるかどうか御質問をいたします。

また、この施策の中でモデル戸別処理施設——戸別処理施設（土壌式）を実験的に設置するとあります。これが放流型2カ所、無放流型2カ所というふうになっておりますが、この4カ所のものの規模や方法についてももう少し明らかにしていただきたいというように考えます。

次に、質問を進めますが、11番でございます。一番最下欄に衛生センター整備事業が載っております。これはインバーター設置による工事費でございます。これはおそらく衛生センターに係る電気の節電ということを目的とした事業であるというように思います。大変こうした事業には、私は節電に関して期待を寄せるものでありますので、このインバーターの設置につきまして、インバーターがどの程度の予算のものなのか、また、これを設置した後のいわゆる省エネの効率、いわゆる節電の効率は一体どのくらいの効率が、節電が期待できるかどうか、これを説明願いたいというように思います。

続きまして、15番でございますが、商工費に道路環境整備事業が載っております。これは平砂浦のフラワーラインの花卉植栽事業費でございますが、この説明書によりましてわかるわけでございますが、これは事業主体が県でありますので、県の意向に沿って進められているものであると思います。ここにツバキが440本、菜の花が4200平米となっております。この事業は昭和54年ごろから始まっているように承っておるものでございますが、菜の花は県の花でありますし、ツバキの花は市の花でございますが、しかしこの2種類のほかにほかの品種も手がけてみたらどうかというように私は考えるんですが、この点につきまし

てほかの品種を手がけるという御検討があったかどうかを御質問申し上げたいと思います。

次に、19条でございますが、公園整備事業につきましてでございます。ここに城山公園の梅園、それから広場等の整備工事が載っております。御承知のように城山というのは大いに整備を進めていただきたいと思う公園でございますし、館山の名所たるいわゆる風格のある公園でございます。ぜひこれを手がけてもらいたいと思いますが、この際、この工事の内容、規模について御質問します。

まず、ここに園路それから広場——コンクリートカラー舗装となっております。この園路と広場について、工事の規模について御説明願いたいと思います。

その次に、修景施設——梅やツツジを植栽するようでございますが、この植栽本数をお示し願いたいと思います。

次に、休養施設につきまして、休養施設——アズマヤを建てるようでございますが、この場所を明らかにしてもらいたいと思います。

また、梅園敷地の造成工事の規模について説明を願います。

次に、30条3款民生費でございますが、おもちゃの図書館設置とあります。新しい事業でございます。この施策は大変少額ではありますが、障害児にとりまして非常に喜ばしい施策であるというように私は思います。こうした施策は今後も進めてもらいたいというように願うものでありますが、今回予算化をされておりますこの貸し出すおもちゃの種類や数量に関しまして、もう少し具体的にしてください。

最後に、もう1点。同じ30条の下から2番目の老人日常生活用具交付扶助費についてでございます。これは老人のニーズが年々高まってきておりまして、いろいろと需要が多くなってきているように承っております。その需要に対してどのように対応していくかという観点から御質問するわけでございますが、本年度の活用状況を予想されておると思いますが、その活用状況の予想につきましてなお説明を加えていただきたいというように考えます。

以上が私の質問でございます。なお、御答弁によりまして再質問を申し上げたいというように考えております。よろしく願います。

(市長半澤良一君登壇)

○市長(半澤良一君) 石井武敏議員の御質問にお答えいたします。

都市排水路浄化施設事業についての御質問でございますが、汐入川流域の上流であります普通河川境川を予定をいたしております。延長約300mの河床に敷設しようとするものでございます。

次に、家庭雑排水処理対策についての御質問でございますが、三角コーナーとろ紙につきましてはスーパー等で一般的に市販されているものを予定しております。

次に、戸別処理施設についてでございますが、一般家庭を対象として家庭雑排水を処理するシステムであり、方法といたしまして汚水を浄化してから放流するものと、敷地内で蒸発散処理する型式のものを2カ所ずつ実験的に設置しようとするものであり、設置場所については敷地あるいは土壌条件等調査検討の上、モニター方式によりお願いしてまいりたいと考えております。

次に、インバーターの設置についてでございますが、衛生センター屋上防砂柵修繕工事請負費とあわせて2087万円を予定をいたしております。

なお、インバーター設置後の節電効率につきましては約16%減、金額にして700万円程度を見込んでおります。

次に、道路環境整備事業についての御質問でございますが、昭和59年3月議会においても御回答申し上げましたように、平砂浦フラワーラインの花木植栽につきましては専門の技術関係者の指導を受け、気象、土壌等の自然条件から海側についてはツバキが最適であるとの結論を得て植栽をしております。今後、フラワーライン内陸側については、専門家の指導を受け、自然条件にあった花木の植栽を検討してまいりたいと考えております。

次に、公園整備事業について御説明を申し上げます。

梅園、広場の工事につきましては、城山公園の南側約6000㎡に梅園と広場を整備する計画でございます。

第1点の工事規模でございますが、園路はコンクリート舗装とし、幅員2m、延長約196m、また広場は広さ約1900㎡に野芝を植栽す

る予定でございます。

第2点の修景施設につきましては、梅を約210本植栽する予定で、その内容は白梅50本、紅梅30本、さらに品種梅を130本、ツツジは約2000本、その他地被にスイセン、リュウノヒゲ等を計画しております。

第3点、休養施設の場所でございますが、芝生広場に野外卓5基、ベンチ10基と八賢士の墓に行く園路途中にアズマヤを1棟計画しております。

第4点、梅園敷地造成工事規模でございますが、自然の地形を生かした造成とし、園路をつくるための必要最小限の造成でございます。また、危険場所には安全柵を計画しているものでございます。

次に、おもちゃの図書館設置についてでございますが、おもちゃは障害児、健常児を問わず子供にとりましてその成長、発達の過程において大切な役割を果たすものでございます。したがって、障害児の使用するおもちゃも特別のものではなく一般的なものを数多く備え、その中から個々の子供の発達や障害の状態に見合ったおもちゃを選ぶことが必要であると思います。このようなことからおもちゃの図書館に備えるおもちゃは自動車セット、木のパズル等一般的に幼児が使用するおもちゃ約60種類、60個程度を考えております。

次に、老人日常生活用具交付扶助費の予想でございますが、自動消火器、火災警報器、ガス警報器につきましては、昭和60年度において対象世帯を調査し、希望世帯すべてに取り付けましたので、昭和61年度におきましては新規対象者分としてそれぞれ10台を見込み、他の日常生活用具につきましては、過去の交付実績等から特殊寝台2台、マットレス2枚、エアーマット1枚、腰かけ便座1台、体位変換機2台、老人用電話2台及び紙おむつの計105万3000円を見込んでおります。

答弁を終わります。

○20番（石井武敏君）　ただいま市長から御答弁をいただきまして、おおむね了承するものでございますが、なお細部にわたりまして説明を加えていただきたい部分がございますので、御質問申し上げたいと思います。

初めに、都市下水路の接触ろ材を設置する場所は境川であり 300 m ということに答弁がありまして、このろ材は実際に——これから設定するわけですが、どの程度の期間で取りかえをするものなのかどうなのか。また、そのろ材を取りかえて汚濁物質の汚染度を測定するものなのかどうなのか説明を加えていただきたいというように考えます。

また、家庭用の雑排水につきまして、ただいまの答弁では市販されているものと同じろ紙あるいは三角コーナーをお使いになるということですが。ちなみに、私は館山市内の市販されている三角コーナーとそれからろ紙の価格を見てまいりましたが、私の調査によりますと館山市内の日常生活用具を売っているホームセンター等の平均値ですが、三角コーナーでいきますとプラスチック製で1個が170円、ステンレス製で785円、またろ紙につきましてはメッシュの場合は158円、これが20枚1組でございます、同じく20枚1組ティッシュが170円、20枚1組ビニールが176円、これが私が調査しました市販されているものでございます。

今回、市で進めようというこのもの、これは市販されているのと同じものだというんですが、これはプラスチック製の三角コーナーであるのか、ステンレス製なのか、その辺をもう少しはっきりしてもらいたいというように考えるものでございます。

また、先ほど御答弁受けました4カ所に設定する放流型と無放流型の戸別処理施設についてでございます。これはモデル戸別処理施設でございまして、4カ所選ぶということですが、モニター方式でやるというんですが、こうした場合モニター料は払うんですか、その辺をちょっと明らかにしてもらいたいというように考えます。

それから、インバーターにつきましては、16%の節減、700万程度の電力の節減になるということで、この点につきましては了承いたします。

次に、フラワーラインの植栽でございますが、これは今後も内陸部の側の花木をこれから選定していく、検討していくという答弁がありましたので了承いたします。

次に、城山公園につきまして、大体おおよその規模とかそうしたもの

は御答弁でうかがい知れました。

なお、梅が210本ということで、白梅が50本、紅梅が30本、品種梅が130本ということでございまして、この梅の植える面積としては今回予算に載せた面積で100%なんでしょうか、植栽の計画面積につきましてもう少し明らかにしてもらいたいというように考えます。

それから、もう1点。城山公園に関しまして関連質問でございしますが、かねて城山公園の上には城の建物がございまして城の建物にマッチするように公園に立っている電柱を埋設したらどうか、いわゆる電柱が立って電線があって城があったんではちょっとイメージ的に城のイメージがあるんだから電柱を埋設したらどうかという意見がたしか出たように私は記憶するんですが、そのことに関しまして、電柱、電線の埋設につきましてどういう検討がなされておりますか、この際お尋ねをしたいというように考えるものでございます。

なお質問を進めますが、おもちゃの貸し出しにつきまして、御答弁によりますと60種類あり、一般のおもちゃが多いように御答弁から承ります。私は障害者の機能を回復させるリハビリ的な意味も含めてそうしたおもちゃが開発されているのではないかとというように考えるわけでございます。ですから、おもちゃの品種についてはもっと検討を加えてもらいたいというように私は考えるんですが、この件に関しましてそうした考え方から御質問するんですが、このおもちゃの種類は本年度におきましてこれ以上ふやす予定はないのかどうなのか、要するにいろんなニーズが出て需要が出た場合にふやしていくものなのかどうか、その辺をもう少し明らかにしていただきたいというように考えます。

また、最後の日常生活用具の扶助費につきましてでございますが、これは細かく御説明受けました。その御説明の中で自動消火装置、ガス警報器あるいは火災警報器がおのおの10台現在需要があるのでその分だけ載せた、予算化したんだというように受け取ったんですが、特にこの自動消火装置、ガス警報器、火災警報器につきましては、貸し付けの中でも万一災害のあったときに人命に関するものでありますので、10台で需要が全部満たされているものなのかどうなのか御説明を加えていただきたいというように考えます。

よろしくお願いします。

○民生部長（鈴木 力君） お答えを申し上げます。

都市排水路の浄化施設につきまして、人工芝のろ材はどの程度の期間で取りかえるかというお尋ねでございますが、人工芝のろ材につきましては取りかえということはいたしませんで、定期的な清掃を行いまして付着したものを取り除くということでございます。

それから、ろ材についての除去率でございますが、BODでもって約40％程度の除去ができるということを見込んでおります。

なお、汚染度測定というものは行うことといたしております。

次に、2点目の三角コーナーの素材というものはプラスチックかあるいはまたステンレスかというお尋ねでございますが、一応プラスチック製のものを考えておるわけでございます。

それから、戸別処理施設に関しましてモニターをお願いするわけでございますが、このモニター料を払うかどうかというお尋ねでございますが、一応御協力をいただきましてお願いしたいということで特にモニター料というものは考えておりません。

次に、おもちゃの図書館の関係でございますけれども、おもちゃの種類あるいは数というものはやはり対象障害児の需要に応じまして子供たちが喜ぶ、楽しい、よいおもちゃをふやしていく考えでございます。

それから、なお最後に老人日常生活用具の給付事業でございますが、これにつきましては特に60年度におきまして一人暮らし老人、あるいはまた寝たきり老人に対しまして、いわゆる火災上の心配、不安というものが大きく、また現実にもそういう火災発生という悲惨な事態が生じておりますので、火災警報器、自動消火器、あるいはガス警報器というものを重点的に、各市内の対象世帯を福祉事務所の職員によりまして現状を調査しまして、特に60年度は火災警報器が126台、自動消火器が128台、ガス警報器が132台というふうに大幅な設置をいたしまして、そういった家庭の火災に対する措置を講じたわけでございまして、今後におきましても必要な老人世帯に対しましては設置を続けてまいる所存でございます。

○経済部長（吉岡政雄君） 城山公園につきましてお答えを申し上げます。

す。

まず、第1点の梅園についてでございますが、一応計画しております面積は、梅園としては3500平米を考えておるわけで、その中に15種類210本を植栽しよう、こういうような考え方で計画を立てておるわけでございますが、一応やはり梅園という規模の中で、将来これが完成いたしまして210本を植栽した後におきまして、また今後検討しなければならないというときには、またその時点で考えていきたいというふうに考えております。

それから、第2点目の電線等の埋設でございますが、これもさきの議会でもって御質問があったわけでございますが、今後城山公園整備の中で、まだやらなければならないのが日本庭園ですとか、万葉植物園等があるわけでございます。このような諸々の施設が完了いたしました暁にすべての電線を埋設する、こういうような計画を立てております。

以上です。

◎20番(石井武敏君) 御答弁によりまして、だんだん都市排水路の事業の輪郭もはっきりしてまいりまして、わかってきたんですが、ろ材は取りかえない、定期的な清掃をするというように御答弁ありまして、定期的な清掃というのはどのくらい定期的に清掃するのかちょっと答えてもらいたいというように思います。

確かにBODが40%も除去されとなると大変すばらしい施策であるように私も考えますので、ぜひこの事業を成功させていただきたいというように思います。

それから、三角コーナー等々、ろ紙は市販されているものと同じものである、プラスチック製であるということでございますが、おそらく170円見当のものであろうというように想像はいたします。また、こういった民間と行政が一体となった協力し合った体制の中での河川浄化等々、こうした施策をどしどし進めていただきたいというように思います。質問としては打ち切ります。

なお、これに関連しまして、予算の中に、機械器具購入費の中に水質検査及び公害測定用の器具を購入するようになっております。これは11月の私が質問したモデル戸別処理の下の方に説明が加えられているわ

けでございます。水質検査及び公害測定用の機械器具を購入しますということ。水質検査は今まで全部道具が揃っておりまして水質検査を行ってきていると思います。新たにここで公害測定用のものを購入するということにあります。今までの水質検査室にある道具で公害のいわゆる河川の汚染状況とか、海水の汚染状況は検査をしてきたように記憶がありますので、どういう新しい公害測定用の機械を入れるか説明を加えていただきたいというように考えます。

それから、城山公園につきましては、植栽の面積等々了承いたしました。なお、電柱については将来埋設をするということで検討なされているということで了承いたします。

また、おもちゃの図書館について、これは需要によってふやしていくということですので、これも了承いたします。

また、一人暮らし、寝たきり老人に対する自動消火装置、ガス警報器、火災警報器につきまして、これは10台ずつということで足りるかという質問なんです。予想としては10台で今年度は足りるという予想ですか、もう少しはっきり教えてください。

以上、お願いします。

◎民生部長（鈴木 力君） 都市排水路浄化施設設置に関しまして、ろ材の定期的な清掃をどの程度行うかということでございますが、おおむね月に1回程度は清掃したいということでございます。

それから、なお公害測定器のことでございますけれども、これにつきましては市が直接水質の測定等におきましては衛生センターの処理水、あるいはまた最終処分場のいわゆる排水関係の検査、それからまた各河川の水質の検査、これらにつきまして現在も直接検査をやっておるわけでございますが、それからなおエヌ・エム・ビー・セミコンダクター、これは委託でございますけれども、大正ゼキ、あるいはまた調整池の検査も市がやるということになっておりまして、いろんな分野でもってこういう公害対策に対応したいということで、それらの測定のための機械を購入したい、ということでございます。

それから、最後に老人日常生活用具の中の自動消火器の関係でございますが、61年度10台程度を見込んだわけでございますが、先ほども

申し上げましたとおり、さらに必要のある一人暮らし老人世帯、そういったところで設置の必要が生ずればまた補正予算等におきましてお願いする場合もあるということでございます。

以上でございます。

◎ 20 番（石井武敏君） 質問を終わります。

◎ 議長（流山源次郎君） 以上で 20 番議員君の質疑を終わります。

次、2 番議員田沢勝信君。御登壇願います。

（2 番議員田沢勝信君登壇）

◎ 2 番（田沢勝信君） 一般会計当初予算の橋梁整備事業についてお尋ねいたします。

橋梁整備事業の項を見てみますと、小塚橋、島田橋の架換工事費、あるいは小塚橋、新橋の橋梁架換工事地質調査測量委託料が計上されております。そのうち、緊急を要すると思われる新橋に関してであります。

腰越から滝川を越えて国分側の萱野の市営住宅方面に通じる新橋がありますが、著しく老朽化のため現在車の通行止めになっております。そのため農作業時期でも耕運機も通れず、広瀬、腰越から国分側の田んぼに行くのにも箱橋を通り、国道に出て萱野の市営住宅の方に回っていかねばなりません。約 4 ㎞ほどの迂回になるというお話ですし、しかも農業従事者が年とった方が多く、国道を耕運機で走るというのなかなか容易でないという苦情も聞くわけでございます。

橋のかけかえとともに、当面の緊急の措置としてせめて耕運機が通れるくらいの、トレーラーを引いて通れるくらいに新橋を補修する必要があると思うわけでございますが、市としてはどのように考えておられるのかお聞かせ願います。

以上、第 1 点に限って質問いたしますが、御答弁によりまして再質問をいたしたいと思います。

（市長半澤良一君登壇）

◎ 市長（半澤良一君） 田沢議員の御質問にお答えをいたします。

新橋の架橋につきましては、千葉県の管理する 2 級河川改修の計画がございまして、この計画に基づいて検討してまいりました。

本年 1 月に補修をいたしましたが、これは地区の皆さん方の御要望が

ございまして、耕運機本体が通ればいいからということで補修をいたしたわけでございます。今回、さらにそれ以上にトレーラー付き耕運機の通行ができるようにという御要望がございましたので、前向きに検討をしてみたいと考えております。

答弁を終わります。

○2番（田沢勝信君） ただいまの答弁で前向きに検討されるというお話ですので、多分補修していただけるんじゃないかというふうに考えるわけですが、この新橋の補修の問題については非常に時期の問題もあるかと思うんです。

今、現在でも野菜等を栽培している方が迂回していく、あるいはまた新橋の腰越側の今回市道に認定されますが、その道路にトレーラーを置いて作業をせざるを得ない、こういう現状があるわけです。しかも、これ以降、田植えを含めて農繁期になってまいりますから、農繁期にあわせて補修をしていかなければいけないんじゃないかというふうに考えるんですが、その補修の時期を含めていつごろになるのかお聞かせ願いたいと思うんです。

○経済部長（吉岡政雄君） お答えいたします。

今年度の予算等が議決をいただきました時点におきまして、新年度になりましたら早々に補修ということも考えております。

○2番（田沢勝信君） 早々に補修するということですから、これでやめますけれども、重ねて要望したいんですが、できる限り農繁期に間に合うような補修をやっていただきたい、これは強く要望いたしまして私の質問を打ち切ります。

○議長（流山源次郎君） 以上で2番議員君の質疑を終わります。

次に、1番議員神田守隆君。御登壇願います。

（1番議員神田守隆君登壇）

○1番（神田守隆君） 昭和61年度の当初予算に関して御質問いたします。

私の質問は事項別明細書によりまして進めてまいりたいと思います。

まず、28番であります。負担金の中ですが、児童福祉費負担金ということで1億80万8000円が計上されているわけであります。

いわゆる保育所の保育料のことではありますが、本年度は値上げが予定されておりますか——いるとすればその値上げはどの程度のものなのかお聞かせを願いたいと思います。

また、関連してお尋ねするわけではありますが、81歳児童措置費あるいは保育所費ということで見ますと、国庫負担金の占める割合が国庫負担率の削減に伴う補助金カット等で大変少なくなっている、その一方で一般財源の持ち出しが逆比例する形で大変にふえているわけであります。ところで、この保育所費の国庫負担率を法律で定めている8割から5割に削減する、このことを合理化するために保育所の事務を機関委任事務から団体委任事務に切りかえるなどということがいわれているわけですが、この点について市長はどのように考えておりますか、その考え方についてお聞かせを願いたいと思います。

次に、30歳であります。衛生手数料、この中にごみ処理手数料として4443万4000円が計上されておるわけではありますが、もともとごみの手数料は無料だったわけではありますが、半澤市長になられて昭和51年の7月から有料化されたものであります。有料化をめぐって当時ごみ処理の本来のあり方などについて大変議論がされたようでありました。そうした中で、新年度から鴨川市ではごみ手数料が無料化されるように伺っているわけであります。鴨川市は当市に比べましても財政力指数などでは常に低位にあるわけではありますが、こうした市においてもごみを無料にするということではありますが、館山市においてもごみの無料化について検討をするお考えはないかどうかお聞かせを願いたいと思うわけであります。

次に、52歳であります。委託料ということでお尋ねをいたします。この委託料の中に市庁舎清掃等委託料ということで項目が計上されてあるわけではありますが、事柄の性質上金額が明示されておりません。そこで市庁舎清掃等委託料の考え方についてお聞かせを願いたいと思うんですが、この内容は市の庁舎清掃や電話交換業務であります。通常、人を雇えば年々定期昇給なり賃上げなどということで働いている人たちの労働条件の改善措置が当然行われるわけではありますが、これが委託料ということで市庁舎清掃とかあるいは電話交換業務についてもこうした点

について積算の基礎に算入をされておるのかどうか。また、市はこうした委託契約にあたって働く人たちの労働条件の改善等についてお考えはないかどうか、この辺についての考え方をお聞かせ願いたいと思います。

次に、88号であります。環境衛生費ということで3160万2000円が計上されているわけですが、この予算項目に関しまして半導体工場の公害防止対策についてはどのような対策が本年度は予算化をされておるのか御説明をいただきたいと思うわけであります。

また、半導体工場の環境問題につきましては、その後環境庁などにおいてもさまざまな施策が進められるようになってきておりますが、現在半導体工場の公害防止対策の上で今後どのような施策が必要だというふうに考えておるか、その辺の考え方がありましたらお聞かせを願いたいと思います。

最後に、144号図書館費ということで5489万7000円が本年度計上されているわけですが、本年は書庫の増築など図書館の充実を図る予算化がされておるわけですが、図書館というものは単に本を貸し付ける場所というような考え方にとどまらず、地域住民にとりまして情報センターとしての役割が期待されるようになってきておるかと思ひます。こうした図書館の機能や役割を積極的に考えた場合に、行政資料としての予算や決算、あるいは議会議事録、条例集、こうした基本的な行政資料については十分住民に見れるようにいつでも閲覧できるような利便を図るべきではないかと思うのでありますが、図書館法の中にもそうした趣旨が述べられているかと思ひますので、こうした点についてどのようにお考えであるか、教育長のお考えをお聞かせを願いたいと思うわけです。

以上、5点にわたって御質問いたしました。御答弁によりまして再質問させていただきます。

(市長半澤良一君登壇)

○市長(半澤良一君) 神田議員の御質問にお答えいたします。

第1点は、保育園の保育料について値上げを考えているかという御質問でございますが、保育料につきましては毎年国の基準改定に伴いまして、国の基準の1年遅れで改定を実施してまいりましたが、昭和61年

度につきましても同様の改定を予定をいたしております。

次に、保育園への入所措置を国の機関委任事務から団体委任事務にすることにより国の負担率を下げてきたことについてどう思うかとの御質問でございますが、保育園への入所措置は機関委任事務とか団体委任事務とかは関係なくあくまでも国の責任において負担し、実施すべきものと考えております。そういう意味で、今回の補助率の引き下げはそれが3年間の暫定措置とはいえまことに遺憾でございます。

次に、ごみ処理手数料についての御質問でございますが、ごみの収集処理については多額の費用がかかりますし、経費を一部負担することによって市民の方々にも常にごみに対する問題意識を持っていただきたいと考えております。また、一定の手数料を徴収することによってごみ量の減少や資源化の促進にもつながると思われましますので、ある程度の料金は受益者に負担していただき、効率的な収集処理に努めてまいりたいと考えております。

次に、市庁舎清掃等委託料に関連しての御質問でございますが、市が外部に対し事務事業の管理運営につきまして委託する場合、大別して2つのケースがございます。まず市民センター及び福祉作業所等、市施設の管理運営について業務を委託するものにつきましては、市職員給与の伸び率を勘案いたしまして計上してございます。次に、業者等に委託するものにつきましては、千葉県最低賃金の伸び等を参考にして積算計上してございます。

次に、半導体企業に対する公害防止対策についての御質問でございますが、公害防止協定に基づいて企業が実施することになっている自己監視については、その検査データも含めて十分チェックをいたしております。また、市独自の検査体制といたしまして、排出ガス、水質の測定、調査をしかるべき機関に委託し、実施するよう予算計上してございます。

また、国の施策への対応についてでございますが、公害防止協定締結以降の動きといたしまして、通産省のトリクロロエチレン等適正利用マニュアルによる指導を初めとして、労働省による特殊化学物質使用実態調査も実施されつつあり、また高圧ガス保安協会より特殊材料ガス災害防止自主基準も示されております。これら国の施策等の変化につきまし

ては適切に対応して、公害防止計画との整合性を図ってまいります。

以上、答弁を終わります。

(教育長福原 修君登壇)

◎教育長(福原 修君) お答えいたします。

図書館費についてでございますが、お尋ねの行政資料コーナーの設置につきましては、現在郷土資料コーナーと称しまして若干収蔵し、利用に供しておりますが、完全ではございません。今後、この行政資料コーナーにつきましては、必要と思いますので整備してまいりたい、このように考えております。

◎1番(神田守隆君) 児童福祉費負担金——いわゆる保育所の関係ですが、あくまでも国の責任において本来実施すべきものということで、そういうお立場で今後とも主張なされるということでありますから、ぜひともそういうことで、国の一方的な負担転嫁のためにいろんな議論がされるようでありますけれども、基本的にはやはりこうした立場を貫ぬいて頑張っていただきたい。

次に、ごみの処理手数料についてであります。ごみの処理手数料について市民の意識の高揚等、非常にそういう点から大事だというようなお話でありますけれども、鴨川市がごみ手数料について無料にした、しかも私らの常識的に考えてみましても大変館山市から比べましても財政的には非常に力の弱いそういう自治体においてもあえてごみ手数料を無料にしたというようなことでございますので、直ちにだから館山市がということもいかないでしょうけれども、しかし住民の目から見ますと、鴨川はただにしても館山はただにしないというのはどういうことなんだということになるろうかと思うんです。どうなんですか、こうした鴨川のごみ処理手数料を無料にするという、その辺の考え方なり経緯なりについてどういうふうにお考えになっておりますか、お聞かせを願いたいと思います。

それから、清掃委託料の関係であります。市民センターなどの団体への委託、これは市の職員の昇給に見合って委託料の中で積算をされる、それ以外の業者への委託については地域最低賃金の伸びを加味して考えておる、こういうことであります。そうすると市庁舎だとか電話交換

業務というのはその後者の方になるというような御説明になろうかと思うんです。

そこで、少しお尋ねしたいんですが、職安法44条ですか、これでは中間搾取の禁止というような趣旨から、何人も労働者供給事業を行ってはならぬというような趣旨で規定がされているわけです。従来、この問題では市の庁舎清掃とか電話交換の業務等については職安法との兼ね合いで違法の疑いありというようなことでとかく論議がされてきたところです。この7月から人材派遣業ということで新たな法律がつけられて施行される、こういうようなことで、きょうの新聞の報道によりましても清掃業務などについては人材派遣業の適用業種になる、こういうような報道でありますけれども、そうしますと、法的な検討を含めまして見直しが必要ではなかろうかというふうに思うんですが、新年度におきまして……。その辺についてどのようにお考えになっておられるのかお聞かせをいただきたいと思います。

いずれにいたしましても、基本的にはこうした趣旨、制度の中で、働いている人たちの労働条件、これが悪化するようなことになったりしてはならぬ、それを保護しなければならぬというのが法律の趣旨だろうと思いますので、そうした点含めましてどのようにお考えになっているかお聞かせを願いたいと思います。

それから、環境衛生費の関係であります、公害防止協定の中では取水量は日量600t以内、こういうことと、それから観測井戸によって定期的な水位調査、記録、記帳、こうしたものを義務づけてその報告を市が求めるというふうになっていたと思うんですが、昨今雨が大変少ないというようなことから大変どこでも水不足の問題が出てきているだけに、こうした市の公害防止協定に基づく企業に対する監督といいますか、報告がどういうふうになっておるのかお聞かせをいただきたいと思うんです。水位調査の結果、問題がありやなしや、こういうような点とか、取水量についての問題がありやなしやというような点をお聞かせをいただきたいと思います。

それから、水質、ばい煙調査というようなことで予算が計上されてこうしたことをやるんだというようなことでありますが、もう少し水質調

査といった場合に具体的にどんな水質調査をされるのか、先ほどの石井議員への御答弁の中では大正池等の水質調査というようなことが答弁の中にありましたけれども、大体どのような検査内容なのかお聞かせをいただきたいと思います。

また、ばい煙の調査といった場合の、ばい煙の調査ということについても御説明をいただきたいと思います。

それから、図書館の関係であります、今後こうした行政各資料のコーナーを設置するのが必要だというようなことでありますから、ぜひともこうした資料については——図書館法にそうした法的な根拠もあるわけですから、どんどん関係諸機関にそうした資料の提供を求めていくというようなことでぜひともお願いをいたしたいということで、これについては質疑を打ち切ります。

○民生部長（鈴木 力君） お答えを申し上げます。

まず、最初にごみの手数料の関係でございますけれども、鴨川市におきましてはちょうどこの3月に新しい焼却場が完成する、建設に伴いましてこの手数料の見直しというものを行ったということでございますが、鴨川市におきましては非常にごみの手数料徴収するための費用がかかり過ぎる、いわゆる手数料よりもむしろ手数料を徴収するための費用が大体500万程度ですか、それから手数料そのものが600万程度、そんな状況であったということで、焼却場の新設に伴いまして指定袋収集というものを一応計画したということで、県内の状況等も視察したというふうに聞いておるわけでございます。

いずれにいたしましても、市民各層の意見を聞こうということで、ごみ収集検討委員会というものを設置いたしましてそこに諮問したということを知っておるわけでございますが、その検討委員会におきましては、詳しい事情はわかりませんが、一応事業所については有料で徴収するということでございまして、一般家庭については無料化が望ましいんじゃないか、こういうことでございまして、県内の状況等勘案してそのような答申をしたというふうに聞いておるわけでございます。

いずれにいたしましても、ごみの手数料につきましてはやはりいろんな学者、学識経験者の考え方も受益者負担ということが現時代において

は望ましいということを申しておるわけでございまして、先ほど市長から答弁のございましたようにやはりコストに見合う適正な料金をいただくということが現時代におきましては望ましいことだ、このように考えておるわけでございます。

それから、環境衛生費に関しまして取水の関係でございしますが、特に公害防止協定におきます取水量の問題につきましては、やはり協定に基づきましてそれを遵守、維持していただくということで常時企業側と話し合いをしておりまして、現在におきましては特に問題ないわけでございますが、大正池の放流口におきます検査におきましては、ペーハーにおきましては——60年の5月27日調査したわけでございますが、ペーハーは8.4、それからCODにおきましては6.5、トリクロロエチレンにつきましては0.001PPM、テトラクロロエチレンにつきましては同様の0.001という数値を示しておるわけでございます。

それから、なお排ガスにつきましては、塩化水素5PPM——これは許容限濃度でございしますが、これに対して0.5PPMという結果、アンモニアにつきましては許容濃度が25PPM、これに対しまして0.1、それからジボラン、これが許容濃度0.1に対しまして0.005という数値でございます。それからシランにつきましては、5に対しまして1という数値が出ておるわけでございます。

そんなことで現段階におきましては問題がないというふうに考えております。

◎総務部長（川畑喜代志君） 神田議員の御質問にお答えします。

庁舎の清掃等に関する委託料の関係でございしますが、先ほど神田議員お話し申されたとおり、この7月1日から人材派遣業法というのが施行になります関係で、ついきのうですか、中央職業安定審議会というのが派遣業務の対象になるものを答申したということがけさの新聞報道で明らかになっておるわけですから、こういうものを念頭に入れて市では見直すべきではないかという御指摘でございしますが、私ども4月1日からと申しますか——3月31日で今年度の契約期間満了いたしますので、4月1日からすぐ清掃業務等お願いしなきゃいけないわけですから、こういう法律の状況等を考えあわせまして業者選定等してまいり

たい、かように考えております。

○1番（神田守隆君） ごみ処理手数料については、また別の機会に論議をしたいと思います。

それから、市の庁舎清掃等委託料であります。こうした人材派遣業等によって新たな法規制の問題については、確かに新年度の予算案の段階でどうだこうだという問題はあるかと思いますが、今後こうした点を念頭に置きながらやはり検討をしなきゃならぬだろうということでもありますから、質疑は一応打ち切ります。

環境衛生費の関係であります。トリクロロエチレンだとかあるいはジボラン云々というようなことでそれぞれ数値については問題がないということでございますが、そうすると昨年の5月の27日に行った調査ということのようではありますが、当初はクローズドシステムでいろいろそういう点での心配はないというふうに考えられてきたわけですが、やはり出るんですね。クローズドシステムの中においてもこうした——確かに許容範囲内の数値ではあるとはいっても現実に出ているということになりますと、やはりこれはそれ自体大変な事実だろうというふうに思うんです。

そういう点から、昨年の5月27日ということではありますが、引き続きこうした追跡調査といいますか、こうしたものが大変重要なことになろうかと思うんです。同じような調査を今年度も予定しておるというようなふうに理解をしますけれども、これについては年1回ぐらいの予算なんですか、年2回ぐらいやろうとかというような、その検査については1年に1回大体5月の時期だとか、そんなふうな予算の計上なのかどうかお聞かせをいただきたいと思うんです。

○民生部長（鈴木 力君） エス・エム・ビー・セミコンダクターに対する公害防止上のいわゆる市の監視でございますが、これにつきましては年1回水質、それからばい煙等予定しておるわけでございます。

○議長（流山源次郎君） 以上で1番議員君の質疑を終わります。

次、3番議員山中金治郎君。御登壇願います。

（3番議員山中金治郎君登壇）

○3番（山中金治郎君） 私は、館山市の予算書に準じて質問させてい

たきます。

まず、第46の総務費の2の給料等に関連して御質問いたします。これは一般議案の第9、第10、第11に關しますが、一般議案は各個に分かれておりますので予算案に関連して総括的に御質疑いたしたいと思ひますので、暫時お許しをいただきたいと思ひます。

一般の各種委員等の報酬の引き上げは別といたしまして、市長はこの種の引き上げには常に県内各市の比較と一般職員との不均衡を理由としておりますが、私はそれは理由とする根拠が非常に少ないと思ひます。

過日、県内のある団体が県内各市の給与調査をして発表いたしておりますが、その後多少の変動はあったかも知れませんが、それによりますと当市は市長報酬は19番目、議長報酬は22番目で、人口の規模からいって県下29市中22番目の位置にあり、かつ県南の見るべき産業もない当市としてはむしろ高い感じさえしております。

さらに、一般職との不均衡、具体的にいえば収入役の報酬より古参部長の収入が多いという現象であると思ひますが、これは給与の性格からいっても、また同じ調査の職員1人当たりの年給与は427万円と県下29市中11番目に高い当市の構造からいっても、どうしても出てくる現象であり、過去にも収入役の報酬が相当期間部長給料より下回っていたということもあったように聞いております。

私は、今回の報酬、給料の引き上げは時期尚早であると言わざるを得ません。

次の3点について判断の資料となるのでお聞かせ願ひたいと思ひます。1つは、常勤特別職、いわゆる三役は一般職員と同じ勤務時間の規定があるのかないのか、次に三役の退職金は一般職と違って1任期ごとに組合から支払われておると聞いておりますが、それは事実なのかどうか、次に、4月1日以降の任期满了になる特別職があるのかどうか。

私は、政治をする者は、昔からいわれている先憂後楽の考え方で、自分たちのことは一番最後に行く気持ちが最も大切であろうかと思ひますが、市長のお考え方をお聞かせ願ひたいと思ひます。

次に、第48の負担金補助及び交付金に関連し質問いたしますが、千葉縣市町村総合事務組合負担金1億6700万余計上されておりますが、

この負担金により常勤特別職を含め職員に支払われる退職金の負担金とありますが、これも先ほどの団体調査にありましたが、当市の場合はこの事務組合に加入しておりますので、退職金の最高限度80.4カ月と国の62.7に比べ17.7カ月と国に比べ非常に高い退職金が支払われております。もちろん退職金制度を否定するものではありません。給料も国家公務員に対し、全員のものはわかりませんが、約160に初任給の比較が出ておりますが、一般行政職は高校卒が約7%、大学卒が約10%の高率であり、さらに退職金で高率な支給をすることは奉仕者としての公務員として、また支給する市側としてどう考えているのか。

一般の市内の勤労者は、市の職員に比較すればそれこそ薄給の中から市税や市の負担をしているのであります。県も新聞によりますと退職金の引き下げ条例案を提出されたようですが、これについて市長の考え方をお聞かせ願いたいと思います。

さらに、同節に市の職員互助会に対し補助金が1100万、これは各款各会計に分かれているようですが、特別会計や広域圏の派遣職員を含めて総額幾らになっているのか。

また、本互助会は昭和41年度199万4000円を皮切りに続いているようですが、最初は低い率の退職金の上乗せにも助成されてきたようでございますが、現在の積立金の総額はどのくらいになっておるのかお伺いをいたします。

次に、106万水産物食用利用高度化施設整備事業補助金1億6000万、これは船形漁業組合の製氷庫建設の補助のようでございますが、これは年々減少する水産資源や漁業収入をも考えての事業補助金と思います。近年漁業の後継者は年々減少し若年の従事者も極端に減っているように聞いておりますが、後継者問題や経営面をも含めて館山市の水産行政の将来性について市長のお考えをお聞かせ願いたいと思います。

以上、質問を終わりますが、御答弁によりまして再質問をさせていただきます。

(市長半澤良一君登壇)

○市長(半澤良一君) 山中議員の御質問にお答えをいたします。

特別職の報酬等の改定についての御質問でございますが、政治に携わ

る者として先憂後楽の考え方は私も同感でございます。

特別職の報酬等につきましては、自治省事務次官通達により、国家公務員の特別職の職員の給与改定、各地方公共団体における特別職の職員に関するところ数年来の給与改定の経緯、各地方公共団体の一般職の職員の給与改定の取り扱い並びに他の地方公共団体との均衡等を総合的に考慮し、適正な改定を行うよう指導をされております。

また、本市の特別職報酬審議会も、毎年一般職の給与改定にあわせて小幅に改正すべきであるとの意見もございますので、今回改定をお願いしようとするものでございます。

次に、常勤三役の勤務時間については規定がございませんが、その職務の性質上おおむね一般職員と同様に考えております。

三役等の退職手当につきましては、原則として1任期ごとに支払うことになっておりますが、例外的に一般職の職員が引き続いて特別職になった場合は本人の申し出により通算もできましたが、61年4月1日からは通算できないよう改正されました。

4月1日以降、任期満了になる特別職でございますが、本年中は私が12月10日で任期満了となります。

次に、退職手当の問題でございますが、本市が加入しております千葉県市町村総合事務組合の退職手当については、自治省の指導により是正計画が立てられ、61年度から5カ年計画で国並みに引き下げる方向で検討されているところでございます。

次に、職員互助会への補助金に関連しての御質問でございますが、一般会計、特別会計及び他の団体への派遣職員分を含めた昭和61年度予算に計上した職員互助会への補助金の額は1231万7000円でございます。

また、昭和40年10月互助会発足以来、積み立てを行ってまいりました退職の際給付する退職生業資金の積立金残高は昭和59年度末におきまして2億466万余円となっております。

なお、退職生業資金につきましては、廃止するため昭和60年度から積み立ては行っておりません。

次に、水産物食用利用高度化施設整備事業補助金及びこれに関連して

後継者問題を含めて水産行政の将来性についての御質問でございますが、施設につきましては、館山船形漁業協同組合の現在の製氷、貯氷施設が昭和30年に建設したもので老朽したため建てかえを行うものでございます。規模は鉄筋コンクリートづくり平家建て633㎡、製氷能力日産20t、貯氷能力230t、建設費2億円を予定し、国、県及び市費をあわせて1億6000万円を補助しようとするものでございます。

また、御指摘の漁業後継者は減少傾向にあり、市内全漁業者686名のうち40歳未満が86名の12.5%となっております。

今後の水産行政につきましては、御承知のとおり遠洋漁業等については制約があり、沿岸、磯根漁業の振興を図っているところでございます。減少しつつあるとる漁業からつくり育てる漁業への転換を図るため、養殖漁業、魚介類の種苗放流、回遊魚の定着を目的とした漁礁の設置を行い、漁業の安定経営を図ってまいりたいと存じます。

以上、答弁を終わります。

○3番（山中金治郎君） 大体わかりますが、あと2、3点お聞かせ願いたいと思います。

最初の1点目ですが、非常勤の特別職の報酬は、私は非常に調査費のような性格がかなりあるかと思えますけれども、ですから私はむしろ調査費を盛り込んだような形の方がいいんじゃないかという気が前からしておるんですけれども、その辺についてのお考え。

常勤特別職、いわゆる三役の人たちの退職金の計算ですけれども、一般職の方のは表を見ても大体最高限度が80点幾つだということで想像はつきますけれども、特別職の方は非常に責任も重いし4年お務めになったから4年分ということじゃないと思えますけれども、その計算方法をお聞かせ願いたいと思います。

○総務部長（川畑喜代志君） お答えいたします。

非常勤特別職の報酬、特に議員の皆さん方に関しましては、調査費も含めて考えるべきではないかというお話でございますが、一応議員の皆さん方につきましてはそういう議会活動等行うに要する経費につきましてもこの中に入っておるというように私どもは考えております。

それから、三役の退職金の計算の方法でございますが、市町村総合事

務組合で支出をするわけですが、まず市町村長の場合でございますが、これは4年丸1期務めますと給料月額26ヵ月分ということになっております。それから助役につきましては同じように給料月額の14.4ヵ月、それから収入役、教育長につきましては12.0ヵ月ということが退職金の支払い根拠になっております。

以上です。

◎3番（山中金治郎君） 次の退職金の問題でございますが、市長さんの御答弁で国並みに近づけるように検討するということでございましたので、了解をいたします。

それから、互助会費のことでございますが、これをちょっとお聞かせ願いたいんですが、積立金はかなりあるようでございますが、退職金の方のことについてはもうやらないということで、ほかの共済の関係のかなり出るといいますけれども、年間大体どのくらい支出されておるかお聞かせ願いたいと思います。

◎総務部長（川畑喜代志君） 互助会の関係でございますが、年間幾らぐらい支出されているかという御質問ですが、互助会の予算がどれくらいかということで答弁させていただきます。

61年度の予算はまだ正式には決まっておりますが、予算的には——これは館山市の職員、それからまた三芳水道企業団、広域市町村圏事務組合、給食組合も入っておりますの総トータルでは776名分の予算でございますので、これを前提にして説明いたしますと、2900万ほどが互助会の事業費になっております。

◎3番（山中金治郎君） 次の水産関係のことでございますが、全体は数字を聞きましたが、地区別の漁業従事者の年齢構成とか、漁獲高をわかたらお知らせ願いたいと思います。

◎経済部長（吉岡政雄君） お答えいたします。

地区別の年齢構成ですと、一応うちの方としましては各漁協別でございますから、全体にまとめたものでひとつお許しをいただきたいと思います……。一種、兼業を含めまして漁業者といわれる方は686名おるわけでございますが、この中で一応20歳から29歳までの間では28名の方がおりまして4.1%、それから30歳から39歳までが58

名いらっしゃいまして8.5%、40歳から49歳までが152名いらっしゃいまして22.2%、50歳から59歳までが240名、35%、60歳以上になりますと208名で30.2%、このような年齢構成になっております。

また、漁獲高でございますが、これも館山市全体のことでお許しいただきたいと思うんですが、59年度ではえさイワシ等も含めまして27億あまりの水揚げがございます。58年度が25億、57年度が31億、このような計算になっております。

◎3番(山中金治郎君) 大体了解いたしました、このあと各委員会で活発な論議があらうかと思いますので、この辺で質問を終わりますが、私がいつもお願いしておりますが、一昨日の質問の中でも出ておりましたけれども、市内の事業者で退職金のそういうふうな制度に加入させないかという質問に対してやはりそういうふうな制度に入りたいんだ、しかしなかなか現状では難しいというのが60何%あったとかというのが一般市内の商人たちの実態でございますので、何とかほかのものをやりくってでもひとつ経済の活性化の方向に重点的に予算を入れていただく方向でお願いをいたしたいと思います。

質問を終わります。

◎議長(流山源次郎君) 以上で3番議員君の質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告しない議員で御質疑ありませんか。

◎27番(安西益男君) 時間があるようですから、2、3点お伺いします。簡単にお伺いしたいと思いますけれども……。

73釜の負担金というところでございますが、地域ぐるみ福祉ネットワーク事業補助金ということでございますが399万8000円、県費の補助が133万9000円となっておりますが、これはボランティア活動の補助金だというふうに認識するわけでございます。この内容についてちょっとお聞かせください。

それから、91釜の14節環境施設センターの搬入道路の借上金ということで40万、これは場所と毎年これだけの借上料をお払いするのか、その点が1点。

同じく 9 1 夢の負担金のところで、広域市町村圏事務組合に対する粗大ごみの処理費負担金ということで 1 6 7 5 万 5 0 0 0 円というふうになっておりますが、この市町村の分担割合をひとつお聞かせください。

あと 1 点、1 1 1 夢の 1 3 節委託料というところでございますが、海岸の清掃に関する件でございまして、ここには遊泳区域区画設備設置委託料とか、観光地美化事業の委託料とか、あるいはまた海洋性リゾートタウン基本構想調査委託料というふうになっているわけでございますが、いずれにしても海岸の清掃ということには観光のまちでありまた海がいれば生命線というような感覚で考えられるというふうに思うわけでございますが、この点につきましても先般大分海岸の砂浜が汚れているということではいろんな意見も上がったわけでございます。

昨今の情報によりますと、飯岡町、ここはかつては山本有三なんていう小説家が昭和 3 年ごろに当時の飯岡の海岸を主材にした「波」というような小説には非常に海岸に避暑客がいっぱいだったというようなことが書かれておるわけでございますが、その後浸食され、だんだんと海岸の砂浜がなくなって一時は全く海水浴客ゼロというような時点があったというふうに聞いておるわけです。その後、飯岡町におきましては町ぐるみで再三県に要望し、そして県が本腰を入れるようになりまして、テトラポットというんですか、それを沖合に間をおいて何か所かず一つと並べて、そしてそれを何年か繰り返しているうちに 5 0 年前の砂浜がよみがえったということが報じられておるわけでございますが、やはりあきらめてしまうということではなくして、館山の場合もそういったことであらゆる努力をしてみる、また海水浴客の年々受け入れに対するこういった砂浜の確保、あるいは元どおりの砂浜にしていくという方法もあるわけでございます。

さらには、御承知かと思いますが、千倉におきましては県の土木としては人工のリーフというような方法を用いまして、人工棚を設置してそして浜の砂の保全に努力しようということがうたわれておりますけれども、こういったこと等に対するやはり県とのパイプをもっと近くしてこういった交渉なり、あるいはそういったふうに他等の研究をしてみるといようなことはどうかと思うわけでございますけれども、現時

点でこれに対する方法なり、お考えなりありましたらお聞かせいただきたい、こういうことでございます。

○民生部長（鈴木 力君） お答えを申し上げます。

まず、第1点目でございますけれども、地域ぐるみ福祉ネットワーク事業補助金につきましては、内容的にはボランティアコーディネーターの設置事業といたしまして、これは県の補助金を得まして社会福祉協議会でいろいろ地域ぐるみネットワーク事業をお願いするわけでございますが、おおむね人件費補助——従来県の方からあるいは市の方から地域ぐるみ福祉推進事業といたしまして職員に対する人件費1人分を市と県と双方から社会福祉協議会へ補助しておりましたが、この経費が大部分でございまして、そのほか福祉活動推進活動事業費としまして各地域、各地区の推進員さんの活動事業の助成ということでございます。それから、ボランティア事業といたしまして傷害保険事業に対する補助、あるいはまたボランティア活動促進事業ということに対する補助金でございます。

それから、次に第2点目の環境施設センターへの搬入道路の土地の借上料でございますが、これにつきましては西長田地区にいろいろと御協力をいただいておりますが、いわゆる和田板金から環境施設センターに至ります間の西長田共有地の土地の借上料でございます。

○市長公室長（斎藤武男君） 91分の粗大ごみの関係でございますが、粗大ごみの処理の市町村の負担金の割合でございまして、この内容につきましては施設の管理に要する費用としまして搬入量割の関係とそれから施設の整備に要する費用の関係で人口割の関係でございまして、総額3066万1000円でございまして、館山市が負担しております額は1675万5000円でございまして、約5割弱ということでございます。

以上でございます。

○経済部長（吉岡政雄君） 111分の全般的な御質問でございまして、特に飯岡町のことも述べられたわけでございますが、この養浜事業等海岸線のものにつきましては、8日の日に日下議員さんからも海浜事業ということで御質問があったわけで、その際御答弁申し上げておりますと

おり、今後県土木事務所の方をお願いいたしまして、海流調査等も含めながら前向きにまたお願いしてまいりたい、このように考えております。

○27番（安西益男君） 1点の地域ぐるみの活動ということでございまして、先般もボランティアセンターということで御要望申し上げたわけですが、さらにはちょっと前に給食のこと、それも検討しようということになっておりましたけれども、今、依然としてやはり月1回というふうに聞いております。希望者はたくさんおるわけですから、こういった点の補助金等もある程度増額をして、そういったボランティア活動のあり方についてはもう少し本当にボランティアの人たち希望しておられるようなことが少しでも達成できるように今後お考えいただきたい。この点は要望しておきたいと思います。

2番目の搬入道路ですけれども、毎年決まってるということでしょうね。毎年ということでしたらそれで結構でございますが、その点もっと確認したいと思います。

粗大ごみの割合につきましてはわかりました。

なお、また海岸の清掃、砂浜を何とか広げていきたいということについては、積極的に県に強く要望していただきたいということを御要望申し上げます。

○民生部長（鈴木 力君） 西長田区に対しましての土地借上料は、毎年度40万円ということでお払いをしておるわけでございます。

○議長（流山源次郎君） 他に御質問ありませんか。

○8番（日下君敏君） 1点だけお聞きいたしたいと思います。

歳入の市税でございますが、今年度特に個人市民税が1億2000万も多くなりまして、トータルで22億円になりまして、歳入全体に占める構成比率が52.4%になった、つまり歳入の半分以上を占めることになったということは一面喜ばしいことだと思いますが、なぜこのように市民税が増加したかお聞きいたしたいと思います。

○総務部長（川畑喜代志君） お答えいたします。

市民税がなぜ伸びたかという御質問ですが、税金のもととなりますのはやはり昨年中の収入でございますので、それが伸びたということでございます。特に、我々公務員のことを話してなんですけれども、公務員

につきましては給与改定もなされたということも入っております。

以上です。

◎ 8 番（日下君敏君） 過去の市税の伸びというか、構成比の伸びを見ますと、55 年が 34.12% であったものが年々増加しまして、毎年、毎年構成比に占める率がふえてすでに半分を超えたんでございますが、これからもこういう傾向でいくんですか、それだけ。

◎ 総務部長（川畑喜代志君） 税全体で今年度予算に占める割合が 52% となったわけですが、これはあくまでも全体の予算、いわゆる歳入総額とのからみでございまして、今年度は起債が昨年度よりは 2 億弱減らした、それから交付税についても 1 億 4、500 万ほど減らしておりますので、そういった関係で市税の占めるウェートが高くなったということでございます。したがって、62 年度以降、こういう状況が続くかどうかはやはりその時点になってみないと言えないと思いますが、地域の活性化等していきますればそのうち市民税の占める割合もある一定線まではいけるんじゃないかということで考えております。

以上です。

◎ 議長（流山源次郎君） 他に御質疑ございませんか。

◎ 22 番（林 豊君） 1 点だけ質問を申し上げます。

72 分の委託料、結婚相談業務委託料が 43 万 9000 円載っております。また、60 分に奨励金として農漁業後継者結婚奨励金 4 万円が載っております。ことは条例の改定も行ったわけですが、その予算として上げられたものは 4 万円でございます。結婚相談業務がいかにか低調であるか、いかにか難しいかというものを如実に物語っておるというふうに考えるわけでございますが、この 43 万 9000 円というのは非常に端数がございまして、どのようにして積算をなされたかお尋ねをしたいと存じます。

それから、もう 1 つは、こういう結婚相談業務というものを始められてからもうすでに 20 年になんなんとしていると思いますが、その成果がどのように今まであったかということをお知らせを願いたいと存じます。

また、それに対して将来どのようにしてこれを改善をしていくか、ど

のようにして推進をしていくかということについて市長のお考えがあればお聞かせを願いたいというふうに考えます。

○民生部長（鈴木 力君） 結婚相談業務に関しましての御質問でございますが、これにつきましては健全で幸福な結婚というものを念願いたしまして、農漁業の後継者を初めといたしまして広く市民の皆さま方の結婚について市の方では社会福祉協議会に委託お願いをいたしまして、相談やあっせんをいたしておるところでございます。その成果としましては、59年度を見ますと相談業務はあわせまして87人に上りまして、それに対して成立いたしましたのは4組でございます。

この相談業務の委託料の内容につきましては、活動費といたしまして20万2000円を交付する予定でございます。これは主任の方に——1人でございますが、2万円、それから副主任が1万7000円、それから一般の方が1万5000円ということで——この方は11人、いわゆる結婚相談員の皆さま方に対する手当等でございます。

それから、なおそのほか研修費として6万5000円、事務費で3万円、会議費で4万4000円、費用弁償で9万8000円等々でございます。

○市長（半澤良一君） 今後も福祉施策の行政の一環として継続して、その成果を期待したいところでございます。

○22番（林 豊君） 私は、農村地区に住居を持っておるわけでございますけれども、近年非常に農業の後継者が少ない、もちろんこれはお嫁さんが非常に少ないということでございます。それで、私の方でもすでに37～38あるいは40になんなんとする後継者が独身でたくさんいらっしゃるんですが、こういう者たちを何とか救済をしてあげたいということで非常に心を砕いているわけでございますけれども……。

私、5、6年前に農業委員会の研修旅行がございまして和歌山の方に参りました。そこでは花嫁銀行というのをつくって広域的にやっていらっしゃるようでございます。もちろん館山市でもかなり広域的に相談業務をやっておるということで大変望ましいことでございますけれども、さらに輪を広げて他県にまでそういうことをお願いをして、南房の暖かい地だから暖地園芸をしてみようということで、市自体が北の方の国に

お願いをするというふうなことを考えてみたらどうかと思うんですが、そういうことは将来どのようにお考えでございましょうか。

○民生部長（鈴木 力君） 御指摘のように現在登録された方々を見ますと女の方が非常に少ないわけで、59年度を見ますと男が51人、女が6人ということで、非常にお嫁さんになる方が少ないわけでございますが、ただいま林議員さんからお話がございました件につきましては、また社会福祉協議会を通しまして結婚相談員の方々に御努力いただくようお願いをしたい、このように考えております。

○議長（流山源次郎君） 他に御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任

○議長（流山源次郎君） お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第1号乃至議案第7号昭和61年度各会計予算につきましては、10人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

重ねてお諮りいたします。ただいま設置されました予算審査特別委員会委員の選任については、委員会条例第4条第1項の規定により、

7番議員 榎本 春光君

8番議員 日下 君敏君

9番議員 福原 勤君

16番議員 松下 正己君

20番議員 石井 武敏君

21番議員 吉田勇治郎君

22番議員 林 豊君

23番議員 伊賀 多朗君

25番議員 五十嵐 昇君

26番議員 石井 正君

以上、10名を指名いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたし

ました。

ただいま選任されました予算審査特別委員会委員の方々は、後ほどこの議場において正副委員長の互選を行いますので御了承願います。

会議日程の変更

○議長（流山源次郎君） この際、会議日程についてお諮りいたします。

明12日の会議日程は本日に引き続き昭和61年度各会計予算の審議となっておりますが、本日特別委員会に付託されましたので、明12日は休会といたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、明12日の会議日程は変更され、休会と決しました。

延 会 午後零時00分

○議長（流山源次郎君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明3月12日から21日まで委員会での議案審査のため休会、次会は3月22日午前10時開会といたします。その議事は、議案第1号乃至議案第31号に係る各委員会における審査の経過及び結果の報告、討論、採決並びに追加議案の審議といたします。

この際、申し上げます。各議案に対する討論通告の締め切りは3月22日午前9時まででありますので申し添えます。

○本日の会議に付した事件

- 1 議案第1号乃至議案第7号
- 1 予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任
- 1 会議日程の変更

